

3月19日さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

みなさんは、「さいたま市」と聞いて、どんなイメージをお持ちでしょうか。最新の「さいたま市民意識調査」では、「買い物など生活に便利なまち」、「居住・生活環境のよいまち」、「交通の利便性が高いまち」が上位を占め、暮らしに便利なまちとしてのイメージが強いようです。

実際に、さいたま市は「住みやすい」、「住み続けたい」と思う方の割合は、ともに85%以上という高い水準を維持しています。

こうした中、先日発表された「SUUMO住みたい街ランキング2024 首都圏版」では、【大宮】が2位、【浦和】が10位にランクインしました。【大宮】は3年連続のトップ3、そして過去最高順位となりました。【浦和】もトップ10に返り咲き、【さいたま新都心】も順位を上げるなど、市民だけでなく、市外の方々にも「住みやすいまち」という認識が定着してきたのではないかと考えています。

【大宮】は、駅周辺の市街地整備が進み、街の風景や生活環境が充実してきました。さらに、3月16日には北陸新幹線の金沢～敦賀間が延伸開業し、交通の利便性がさらに高まります。

また、【浦和】は「文教都市」としてのブランド力が根強く支持されています。加えて、駅周辺では再開発が進んでおり、駅前の利便性の向上や新たなにぎわいの創出が期待されます。

今後も、市の魅力にさらに磨きをかけ、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」を実現してまいります。